

部門紹介 ～リハビリテーション科～

作業療法士 小野寺 由樹

今回は、リハビリ職種の中から、作業療法士の紹介をさせていただきます。

まず「作業」とは、食事や入浴・仕事・家事・余暇活動など人の日常生活に関わるすべての諸活動のことを指しています。作業療法では運動や認知機能のほかにも『応用的動作能力』という食事やトイレ、家事動作といった日常で必要となる活動や『社会的適応能力』という地域活動への参加、就労に向けてのリハビリを行っています。

私たちは主に回復期リハビリテーション病棟の患者様を中心に脳血管疾患、整形外科疾患、手術や長期入院により体力や心肺機能が低下した方々へリハビリテーションを提供しています。回復期では急性期病棟での治療が終わり、病気やケガの状態が安定し、より具体的な生活をイメージできる段階での機能・能力回復のお手伝いをさせていただいています。

訓練室では調理訓練ができる調理台や模擬的に動作が行えるようトイレ・浴槽があります。日常生活動作や家事動作全般の実践的な動作練習が行え、退院後の患者様の生活を見据えた訓練を提供しています。また、身体機能面だけでなく、高次脳機能といい記憶低下の方や物事を切り替える機能が低下した方への機能回復訓練も行っています。必要に応じて復職目標の患者様には復職に関わる技能再取得のため、机上課題等も行っており、多方面にわたりサポートしています。

理学療法と同じく入院中に家屋調査も行っており、作業療法ならではの視点で福祉用具や手すりの設置といった提案をさせていただいております。また、退院が近づくにつれて、外泊練習を行っており、家族指導も同時に行っています。

早く退院できるようにサポート致します！



当院のリハビリ科では14名の作業療法士が在籍しています。明るいスタッフが多いため、和やかな雰囲気の中で訓練を行っています。患者様は訓練にいつも一生懸命取り組まれているので、寄り添いながらなるべく早く退院出来るようサポートしています。

退院するとき笑顔で帰られる姿や、退院後に元気な姿で来て下さると作業療法士をしていてよかったと心から思います。

